

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	鶴山公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1 名 称 公益社団法人津山市観光協会 代表者 会長 竹内佑宜
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 160,559 人 （前年度 146,391 人） 備中櫓入館者数 55,072 人
(2) 事業の内容	・津山さくらまつり（4月1日～18日）95,304 人 ・観月と邦楽の夕べ 荒天中止 ・美風盆栽展 約 500 人 ・花火の観覧席 約 500 人 ・秋の津山城ご当地グルメフェスティバル 約 6,000 人

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 56,274 千円 （前年度 53,847 千円） 利用料金収入 34,453 千円 指定管理料 18,600 千円 その他の収入 221 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 56,274 千円 （前年度 57,893 千円） 主な支出 人件費 37,333 千円 光熱水費 3,268 千円 修繕・消耗品費等 952 千円 委託料（施設管理） 10,451 千円 負担金・公租公課 1,246 千円 その他 3,024 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・年間を通じて約 300 件程度のアンケートを回収した結果、特に要望事項が目立った事柄 ・高齢者には階段がきつい、又階段の段差を修繕してほしい ・城にまつわる説明版がない（森家・松平家など） ・駐車場が分かりにくい ・石垣が大きくてすばらしい
(2) 指定管理者の自己評価	・平成 24 年度入園者数は前年比約 109.7%で少し増加したが、これはさくらの開花が早まり3月の入園者が前倒しで増加したためである。 ・公園内は西側斜面の雑木等の伐採が行われ石垣もきれいに見え、そして桜の苗木も補植ができ景観もよくなっており魅力アップに繋がっていると思われる。 ・さくらまつり期間中は全国各地からの花見客で賑わっているが、その他の期間中の入園者の誘客促進のため、秋にはご当地グルメフェスタや美作国大茶華会などイベントを実施し集客に努めた。 ・今後の課題として、高齢者に対する手すりの設置や、季節ごとの魅力づくりが必要である。
(3) 市の評価	本公園は、「史跡」や歴史公園という制約の中で管理運営を行わなければならないが、快適で安全に利用できるよう創意工夫していると思われる。 利用に当たって、巡回点検の実施、支障箇所の修繕実施、「杖」や「傘」、「車いす」の貸出しを行い、立ち入り禁止や注意箇所等の表示を実施し、事故や苦情の発生を抑制しサービス向上を行っている。利用者の多様な要望の把握のためアンケートを今後も続け、さらにサービス向上につながるよう期待する。 誘客のため年間5回の事業が実施されているものの、四季折々の多様な事業実施が更に望まれる。三の丸の広場を使ったイベントが実施されており、誘客に繋がっているが、貴重な歴史的価値のある史跡「津山城跡」の魅力を活かした事業を実施し、利用が増えるよう期待する。 施設紹介や事業案内のためホームページの整備があるものの、四季折々の案内や情報発信の取組みが更に望まれる。 清掃や草刈り等の委託費を削減し、経費削減を実施している。今後とも効率的な運営を期待する。